

かめのこプレス 第3号

平成25年4月1日発行



亀の子会では、稲作を通じて日本の伝統文化や自然に触れる事を目的としております。
1年を通して、お田植え・稲刈り・お米の脱穀・粃すり・植えたお米の試食・注連飾り作り・餅つき・たこ作り教室・節分・たこ上げ・豆まき等、様々な行事が執り行われました。

平成24年6月9日 お田植祭・お田植え



亀の子会の年度初めの行事となるお田植え祭です。

まずは、豊作を神様にお祈りして亀山八幡宮御神田(亀の子会の田んぼ)をおはらしました。

田んぼには素足で入り、泥んこになりながらも楽しくお田植えをしました。植えた稲は「イセヒカリ」です。なかには、泥団子を作ったり、かえるを追いかけてまわっている姿もみられました。

今回初めての試みで、自分で発芽させた苗を持参して植えました。

平成24年9月17日 抜穂祭・稲刈り



亀の子会で苗から育てた稲も、耕作者である森田氏の丁寧な管理により、豊かに実りました。
今年の抜穂祭は天候に恵まれず、台風のまっただ中にて行われました。しかしながら、神様にお守りされておりますので、雨にも降られずに稲刈りを行うことができました。
このお米は後日、かめのこ米として会員の皆様にお配り致しました。自分で植えて刈り取ったお米は、特別美味しいものだと思います。

平成24年12月9日 お米の脱穀・粃すり・注連飾り作り・お菓子作り



伊勢神宮やイセヒカリについて勉強した後、すり鉢・すりこぎ棒・ボール等を使って、粃すりをしました。
昼食は皆で刈り取ったイセヒカリを、飯盒炊爨いただきました。とても美味しく、おかわりをする子供が沢山いました。午後はお正月の注連飾り作り体験後、ホットケーキを作って食べました。

平成24年度 亀の子会 スポンサー

高本 元子	ファミリーフーズ
那田 恒雄	堂野 昭夫
	ふるやしき
	福村 義文

平成24年12月28日 餅つき



いよいよお正月も近づいてきました。亀山八幡宮では毎年、神様にお供えするお餅を沢山ついています。

前回から亀の子会もお邪魔して、一緒にお餅つきや小餅を作りました。

お母様方も頑張って餅つきをされました。

今回は外人さんの飛び入りもあり、いつも以上に賑やかなもちつきでした。

小餅は個性的・独創的な形のものが多かったです。

餅つき後は、青のりを蒸した餅米にまぶして頂きました。おかわり続出のおいしさでした。

平成23年度に亀の子会で収穫したイセヒカリを、岩国の五橋で有名な酒井酒造に納めました。

そのお米が純米酒の御神酒に生まれ変わりました。

2012年全米日本酒飲評会ゴールドメダル受賞とだけあって、大変美味しい御神酒となり、皆様にも好評でした。

平成24年度の収穫したイセヒカリも納めてますので、ご両親様は来年の出

「イセヒカリ」とは平成元年、伊勢神宮の神田で二度の台風に見舞われ、倒壊した稲穂が、後に天災が巡り会わせた奇蹟の米、「イセヒカリ」の誕生である。



御神酒

イセヒカリ

木桶造り 生酛純米酒

平成25年1月27日 たこ作り教室



たこ愛好家の方に教えてもらいながら、世界に一つだけのたこを作りました。今年は定員以上に参加者が多く、大変盛り上がりしました。



平成25年2月3日 節分祭・たこあげ大会



亀山八幡宮の節分祭 鬼の抱きかかえ

たこあげ大会

かめのこサポーター

かめのこサポーターは、これからの日本を担う地域の子供の教化育成を実施している亀山八幡宮の子供会「亀の子会」をご支援いただくプログラムです。

かめのこサポーターにお申し込みいただきますと、子供達が心を込めて作ったかめのこ米4合(イセヒカリ)をお届け致します。イセヒカリは、コシヒカリと同様に美味しいのですが、市販されていない貴重なお米です。また、2口以上ご支援いただける方には、かめのこ米も使用して作られた五橋で有名な酒井酒造謹製2012全米日本酒飲評会ゴールドメダル受賞のイセヒカリ純米酒4合を併せてお届け致します。

お申し込み・お問合せは下記までお願い致します。

1口 5,000円



地主 久保田達彦 田主 森田康資
平成24年度 ボランティアスタッフ
穂枝将彦 穂枝由紀子 東明平 木村大吾
高石忠男 田邊真梨子 出来甫 中本聡
東原まどか 松浦嘉範
亀の子会担当・かめのこプレス編集 竹中信彦

亀山八幡宮 亀の子会
〒750-0004 下関市中之町1-1
電話231-1323 FAX 232-5365
E-mail kameyamahachimangu@theia.ocn.ne.jp

